

東京学芸大学国語教育学会
2021年度 第5回例会のご案内

つい先日10月のカレンダーをめくったような気がしていましたが、先ほど11月の一枚をめくり、2021年のカレンダーも最後の一枚となってしまいました。会員の皆様、いかにお過ごしでしょうか。

さて、予定通り、オンラインにて第5回の例会のご案内をすることになりました。多くの方の参加を、お待ちしております。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 上田真也〔東京学芸大学附属大泉小学校〕

研究主題 思考力・想像力を育てる言葉の学び

日時 2021年12月11日(土) 14:00~16:30

会場 ZOOM会議室(オンライン)
ミーティングID 839 4294 7220
セキュリティパスコード Cjc8kS
招待リンク

<https://us06web.zoom.us/j/83942947220?pwd=Sk9HNksyWFptU2s4eHBxNFhCQzRQdz09>

時程	14:00~	開会
	14:10~15:00	実践提案1
	15:10~16:00	実践提案2
	16:00~16:30	研究大会の授業について その他連絡 閉会

○実践提案 1

感想の深まり、広がりの評定に関する研究 ―文学体験の変化を手がかりとして―

雙葉小学校 我孫子 雄希

(概要) 小学校学習指導要領国語編(平成29年版)では、「読むこと」の領域において、第3学年及び第4学年では、「カ文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと」、第5学年及び第6学年では、「カ文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。」の指導事項が位置づけられている。この目標を達成するために、詩や物語などの文章を読み、感想や考えなどを伝え合ったりするといった言語活動が推奨されている。

発表者は、現在小学校3年生の担任をしているが、物語文の学習における感想の共有活動を通して、中学年の児童においても相手との感想の差異を発見した後、感想を再構成することで、自身の感想を深めたり、広げたりすることができる。一方で、児童の感想の深まり、広がりといった様相を捉えるために、どのような評定基準を設けていくかを明らかにできていない。

そこで、本実践では、「はりねずみと金貨」(東京書籍・3年上)の教材文を扱い、児童が書いた感想を「文学体験」の4つの段階(参加、同化、対象化、典型化)に分類し、以下の2つの方法で児童の感想の深まり、広がりが見られるかを検証した。

①異なる文学体験を行っている児童同士の感想の共有場面を設定した後、再び感想を書く機会を設ける。②文学体験の変化を促す問いを提示し、問いの解決を図った後、感想を書く機会を設ける。

児童の感想を思索した評定基準をもとに分類することで、中学年の児童が自身の文学体験を変化させながら、感想を深めたり、広げたりしている実態を明らかにする可能性が示唆された。

○実践提案 2

一人一台のタブレットを活用した説明的文章の読解についての一考察

～小学5年生「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう―」より～

江戸川区立船堀第二小学校 藤原 隆博

(概要) 中央教育審議会答申(2021年1月)の中で、「個別最適な学び・協働的な学びを一体的に充実」することが示され、ICTの活用を踏まえた授業改善が求められている。

稿者の所属校では今年度、一人一台のタブレットが配布された。教員機は富士通タブレット、児童はiPadを用いる環境下で、とMicrosoft OfficeのTeams等のソフトを駆使した実践を少しずつ蓄積してきた。

本発表では、説明的文章を読解する上で、一人一台のタブレットをどのように活用すれば、個別最適な学び・協働的な学びが一体的に充実するのか、考察した。「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう―」(教育出版5年下)では、複数の資料が提示され、人間と自然とのかかわりについての意見をもち、意見文にして表すことが求められる。複数の資料を読むためには、要旨を正確に読み取る読み方が必要だと考え、C.Wallace(1992)のフレームワーク「5つの問い」を参考に、読みの視点として児童に提示した。

考察では、協働的な学びを通じて、個々が学習を進める具体的な方法知を獲得することや、ICTを用いて個が情報を他者と共有することで相互に承認し合え、個別最適な学びが充実し、自信をもって取り組めるようになること。また、多様な情報の中から個が必要な情報を自ら選べるようになることに価値があるのではないかと述べた。

参加費 無料

※学会員の方は年会費(一般3000円、学生2000円)をいただきます。
※年会費の納入方法につきましては、別途お知らせいたします。

- ・本学会は、国語科教育に関心のお持ちの方ならばどなたでも入会できます。
- ・本学会に関するお問い合わせは、学会事務局(東京学芸大学附属大泉小学校・上田真也 ueshin@u-gakugei.ac.jp)までお願いいたします。
- ・第6回例会は、1月22日(土)にオンライン(zoom会議室)にて行います。